

aruba

a Hewlett Packard
Enterprise company

HITACHI
Inspire the Next

セキュア無線 LAN システム

Aruba シリーズ

次世代無線LANが



オフィスを変える



ビジネスを変える



セキュアで快適な無線LAN環境を実現！次世代無線LANシステム Arubaシリーズ

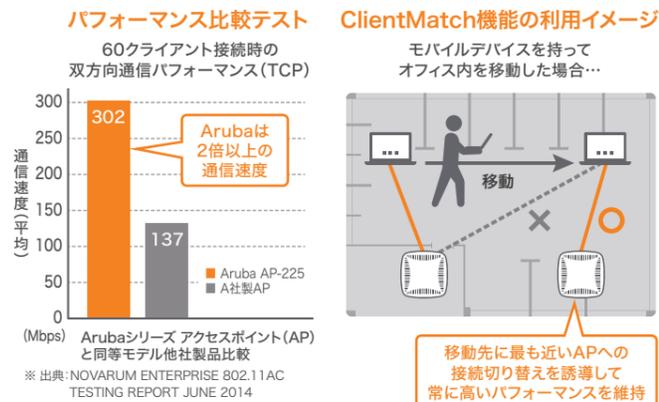
スマートフォンやタブレットなど、モバイルデバイスの普及に伴い、無線LANはビジネスにおいて欠かすことのできないインフラとなっています。Arubaシリーズは、独自のアーキテクチャや多彩な機能で、高品質、高信頼の無線ネットワークを実現。多様化するビジネスシーンを支援します。

Arubaシリーズの特長

1. ハイパフォーマンス

Arubaシリーズは、実際の利用環境を想定した比較テストで、高いパフォーマンスを発揮しています。

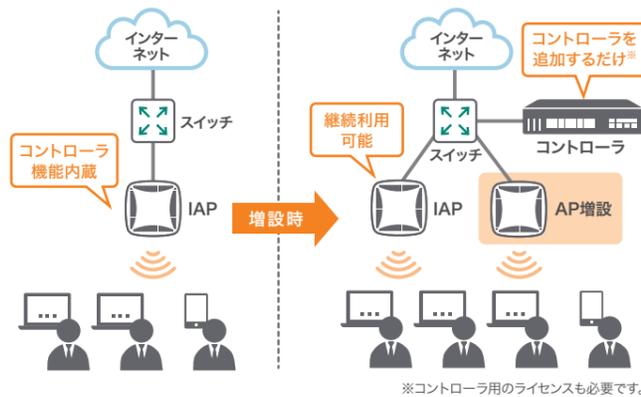
また、リアルタイムで無線状況を判断し、最適なアクセスポイント (AP) へ接続切り替えを行う ClientMatch機能を搭載。パフォーマンス低下を防ぎ、安定した通信を実現します。



2. スモールスタート可能

小規模構成には、コントローラ機能を内蔵したインスタントアクセスポイント (IAP) をご用意。ユーザ認証によるアクセス制御もIAP 1台から実施でき、手軽に導入できます。

また、AP増設の際はコントローラを追加購入することで、より多くのAP管理にも対応可能です*。既存IAPの買い替えは不要で、継続して利用できるので、無駄なく容易にシステム拡張が実施できます。



3. 豊富なラインナップ

Arubaシリーズでは、さまざまな種類のAPを取りそろえています。性能、設置方法などのお客様のご要望に応じて、最適なモデルを多様な環境でご利用可能です。

屋内用 オフィスや来客スペースなど



屋外用 キャンパスや工場敷地内など

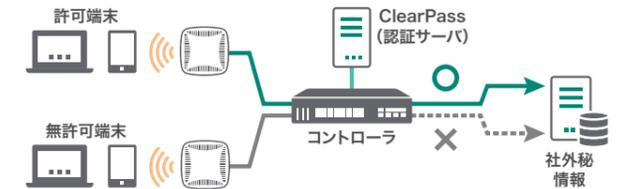


セキュリティ対策

柔軟なアクセス制御

認証サーバ連携によるユーザごとのアクセス制御で、セキュリティを強化。さらに、統合認証基盤ソフトウェア ClearPassで、デバイス種別に応じた制御も可能です。高いセキュリティを保ちつつ、柔軟に運用できます。

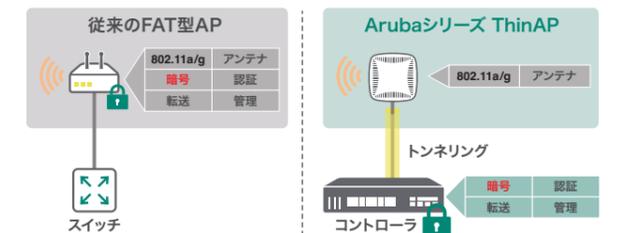
ユーザベースファイアウォール機能 (例)



独自の“ThinAP”で情報漏えい防止

従来のAPは、暗号機能を含めたすべての処理を行う“FAT型”と呼ばれるものです。ArubaシリーズのAPは、電波の送受信を行うアンテナ機能のみを搭載した、独自の“ThinAP”を適用。転送・暗号化などに必要な機能や情報はコントローラに集約できるため、APの盗難・紛失による情報漏洩を防止できます。 ※ IAP を除きます。

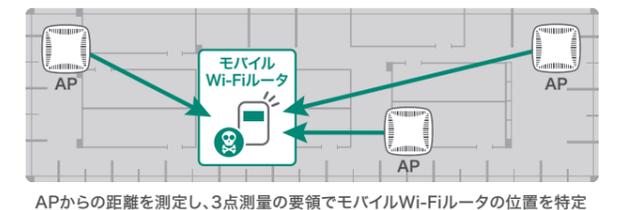
FAT型とArubaシリーズ アーキテクチャの違い



ネットワークの見える化で、不正APを検知

個人が無断で持ち込んだモバイルWi-Fiルータや不正AP経由での接続は、情報漏洩・ウイルス感染の危険があります。Arubaシリーズは、ネットワーク統合管理ソフトウェア AirWaveと連携し、ネットワーク状況を可視化。不正AP検知はもちろん、ユーザごとの電波環境など、トラブル発生時の状況把握にも有効です。

持ち込みモバイルWi-Fiルータの検知イメージ



効率的な運用管理

無線空間を自動で最適化

Arubaシリーズは、自動で電波調整を行うARM (Adaptive Radio Management) 機能を搭載。他のAPとの干渉時やAP増設時には、無線空間を自動的に最適化でき、運用管理のコスト削減につながります。

独自のARM機能

- 電波状況に応じて電波の強度、チャンネルを自動調整
- 導入時の電波設計、出力設計の手間を軽減
- 衝突・干渉による影響を最小化
- AP故障時にも自動で電波調整、故障APの電波範囲をカバー

集中管理による効率化

各APをコントローラで集中管理するため、設定変更やAP増設時の煩雑な業務を効率化。管理者負担を軽減します。また、有線LANとの混合環境も、容易に統一管理できます。

FAT型とArubaシリーズ AP管理の違い



